

～石川県トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議開催～

石川運輸支局

去る2月17日（水）、石川県トラック会館で、第2回石川県トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議（議長：近藤修司北陸先端科学技術大学院大学教授）を開催しました。

この会議は、トラック運送業における荷主・元請・下請間の適正取引を推進するため、経済団体、荷主企業、トラック事業者・団体、行政等の関係者が、トラック運送における関係者の望ましいパートナーシップを構築するための環境整備や課題解決を図ることを目的して開催するもので、石川県では平成20年12月に続き、今回で2回目の開催となります。



今回は、①第1回開催以降、現在までの景況感、②最近の中小事業者の取引適正化等に関する行政動向、③昨年運輸局が実施した「荷主との協力関係による輸送の効率化に関する事例等調査」の調査結果を議題とし、意見交換が行われました。

荷主側からは、綿密なコミュニケーションを土台に、事業企画提案力の強化とそれを支える財政基盤の強化を進めて行ってはどうか等の意見が出されました。

一方、運送事業者側からは、運送業者・荷主業者共に企業努力が必要であるが、その上で、消費者や行政からの後押しをいただきたい等の意見が出されました。

こうした各委員からの意見を踏まえ、引き続き、調査等の活動を通じて色々なモデルケースを収集・分析し、パートナーシップ構築に向けたベストプラクティス（好事例）の発掘を行うとともに、トラック事業者と荷主の相互のメリットの享受や一層の競争力が養える提案を行っていくことを課題とし、会議を終了いたしました。

